

## 過去10年で最大規模の一般会計予算を編成！ 246億6,000万円(前年度比3億6,000万円・1.5%増) 平成30年度龍ヶ崎市予算(案)を発表しました

本日(2/6)龍ヶ崎市では予算発表記者会見を開催し、平成30年度龍ヶ崎市予算(案)を公表しましたので、お知らせいたします。

### 【平成30年度予算のポイント】

- ここ10年で最大規模の一般会計予算を編成  
一般会計予算：246億6,000万円(前年度比3億6,000万円・1.5%増)  
※ 一般会計・特別会計予算総額：411億5,430万円(前年度比3億7,480万円・0.9%減)
- 工業団地拡張事業特別会計を新たに設置

### 【平成30年度の主な事業】

- 電子黒板・タブレットの全中学校導入(1,247万円)
  - ・電子黒板・タブレット端末を全中学校にも導入(全小学校には平成29年度に導入完了)
  - ・中学校のWi-Fi環境を整備
- 道の駅の整備、牛久沼の有効活用(2億1,651万円)
  - ・道の駅整備予定地の護岸改修工事、整地工事を実施
  - ・牛久沼フォトコンテストの開催、優秀作品によるカレンダー作成 など
- 「(仮称)まいんスポーツ健幸センター」を整備(4,835万円)
  - ・まいん1階を「(仮称)スポーツ健幸センター」として整備、気軽にスポーツを楽しめる場所を提供
  - ・スポーツ健幸日本一の実現へ市民の健康づくりを支援するとともに、中心市街地活性化も促進
- 総合運動公園誘導サインを国際基準にリニューアル(1,360万円)
  - ・総合運動公園誘導サインを国際基準のピクトグラム表記、英語併記にリニューアル、看板新設
  - ・東京五輪での海外チーム事前キャンプホストタウンとして利用者の国際化へ対応

■発表日時 平成30年2月6日(火)午前11時 発表  
(上記日時に開催した予算発表記者会見において配布した資料をお送りしています)

■添付資料

- ・記者発表資料
- ・市長記者発表要旨
- ・平成30年度龍ヶ崎市予算の概要

担当課 龍ヶ崎市 総務部 財政課 財政グループ  
担当者：富塚(とみつか)・関川(せきかわ)  
連絡先：0297-60-1517(直通)

# 平成30年度は、「ふるさと龍ヶ崎」の まちづくりの歩みを着実にすすめる年です。

平成30年度は、本市のまちづくりの基本方向を示す最上位計画「第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」の2年目の年であり、これまで進めてきた「市民活動日本一」「子育て環境日本一」「防災・減災日本一」「スポーツ健幸日本一」の取組を、着実かつ確実に実行に移す年です。

## 平成30年度予算のポイント

一般会計予算は246億6,000万円、前年度比3億6,000万円(1.5%)の増。  
工業団地拡張事業特別会計を新たに設置しました。

会計別予算の状況		平成30年度	平成29年度	比較	増減率
一般会計		246億6,000万円	243億 円	3億6,000万円	1.5%
特別会計	国民健康保険事業	76億5,500万円	90億2,300万円	△13億6,800万円	△15.2%
	公共下水道事業	23億2,840万円	22億2,500万円	1億 340万円	4.6%
	農業集落排水事業	6,740万円	7,000万円	△260万円	△3.7%
	介護保険事業	49億3,000万円	46億2,900万円	3億 100万円	6.5%
	障がい児支援サービス事業	3,300万円	1,860万円	1,440万円	77.4%
	後期高齢者医療事業	13億5,980万円	12億4,260万円	1億1,720万円	9.4%
	介護サービス事業	1,570万円	2,090万円	△520万円	△24.9%
	工業団地拡張事業	1億 500万円	—	1億 500万円	新設
	特別会計合計	164億9,430万円	172億2,910万円	△7億3,480万円	△4.3%
総 計	411億5,430万円	415億2,910万円	△3億7,480万円	△0.9%	

国の平成30年度地方財政対策では、地方交付税(△0.3兆円)・臨時財政対策債(△0.1兆円)ともに減額となりましたが、地方税等の伸びを見込み、一般財源総額は前年度の水準を確保しました。

これを受けて、本市においても、臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税は減収を見込む一方、景気の回復基調により市税や地方消費税交付金は増収を見込み、一般財源総額では前年度比で1億8千万円の増額となりました。

歳出では、扶助費などの義務的経費の増加に加え、道の駅や佐貫3号線整備等の事業本格化に伴い、投資的経費である普通建設事業も増加したことから、予算規模は前年度比で3億6千万円の増額となりました。

普通建設事業費の増加により、財源として借り入れる建設事業債は、前年度比で2億6千万円の増額となりました。対して、特定目的基金繰入金は前年度比で8千万円の減額となっています。

また、財源不足額の6億2千万円については、平成29年度に引き続き、財政調整基金に加え、減債基金を繰り入れて対応しています。

特別会計では、新たに工業団地拡張事業特別会計を設置しましたが、県単位での運営が開始されることで、国民健康保険事業の予算規模が13億7千万円縮小したことから、特別会計全体では7億3千万円の減額となりました。予算総額では、411億5千万円、前年度比3億7千万円の減額です。

## 平成30年度主要事業

★新規 ☆拡大・継続 ◎みらい育成基金充当事業

教育環境の向上と「子育て環境日本一」		
★	電子黒板・タブレット端末等の導入(全中学校)	1,247万円 ◎
★	中学校特別教室へのエアコン設置(実施設計)	587万円
☆	英語指導助手の増員(2人増員し10人体制で主に小学校の英語教育を充実)	4,536万円
☆	国指定重要文化財「絹本著色十六羅漢像」掛軸複製制作(4幅)	566万円 ◎
☆	「こどもまつり」の開催	403万円 ◎
☆	マル福医療福祉事業(高校3年生相当までの医療費助成)	5,895万円
☆	任意予防接種助成(小児インフルエンザ・おたふくかぜ・ロタウイルス)	1,728万円 ◎
☆	保育士等支援事業(家賃補助・修学資金貸付)	588万円
☆	駅前こどもステーションの運営(保育所等への送迎と子育て支援センター)	3,398万円
☆	高等職業訓練促進費補助金(ひとり親家庭の資格取得支援)	1,460万円
★	長山中学校屋根防水改修工事	5,483万円
にぎわいの創出と「市民活動日本一」		
☆	道の駅整備事業(護岸改修・整地工事等)	2億714万円
★	道の駅総合プロデュース(3か年継続事業 総額1,312万円)	432万円 ◎
☆	牛久沼活用支援	324万円 ◎
★	牛久沼フォトコンテスト&カレンダー作成	60万円
★	牛久沼水質浄化促進対策	121万円
☆	佐貫3号線整備事業(地質調査・道路詳細設計・橋梁詳細設計)	5,300万円
☆	住み替え支援補助(転入加算増額・子育て加算拡充)	4,200万円
★	工業団地拡張事業(特別会計設置)	7,908万円
☆	創業支援事業(Match-hako龍ヶ崎の運営(取手市との広域連携)・創業促進補助)	1,719万円
☆	コミュニティセンター改修工事	3,097万円
☆	集会施設改修等補助(トイレやエアコン改修等に拡充)	1,005万円
★	市民活動センター・教育センター改修工事	6,931万円
★	龍ヶ崎市版「小さな拠点」づくり(ふれあいのまちづくり事業の拡充)	1,259万円

## ★新規 ☆拡大・継続 ◎みらい育成基金充当事業

★ 龍ヶ岡公園駐車場整備工事	6,000万円
★ たつのご産直市場の開設	1,605万円
★ シティセールスプロモーション事業(PR冊子の作成)	600万円
★ (仮称)市民交流まつり開催事業交付金(地域コミュニティの交流促進)	50万円
★ 飼料用米生産拡大支援事業(農業機械購入補助)	1,000万円
★ 企業活動促進支援事業(展示会等への出店補助)	50万円
<b>安全安心なまちづくりと「防災・減災日本一」</b>	
★ 防災貯留型トイレの整備(避難所となる小学校5か所)	2,500万円
★ 防災行政無線のデジタル化(実施設計)	1,000万円
★ 消防団の処遇改善(報酬単価引き上げ)	1,822万円
★ 文化会館大ホール天井等改修工事	5,941万円
★ 地域コミュニティ防犯カメラ等設置補助金	180万円
★ 老朽空家等解体等事業補助金	100万円
★ 耐震シェルター等設置補助金	100万円
★ 交差点への防犯カメラ設置(3台)	421万円
★ 図書館防犯カメラ設置工事	441万円
<b>健康づくりの推進と「スポーツ健幸日本一」</b>	
★ 健幸マイレージ事業の推進	692万円 ◎
★ 医療機関胃カメラ検診の実施	116万円
★ (仮称)まいんスポーツ健幸センター整備事業	4,835万円
★ いきいき茨城ゆめ国体リハーサル大会開催等事業	1,573万円
★ 東京五輪・ラグビーワールドカップ等事前キャンプ招致事業	857万円
★ 総合運動公園誘導サイン等作成	1,360万円
<b>公共施設・インフラの新設・拡充等</b>	
★ 佐貫排水ポンプ場改築工事(3か年継続事業 総額9億3,400万円)	3億7,360万円
★ 市道第3-309号線整備事業(測量・道路詳細設計)	1,200万円

## 市長記者発表要旨

まず、つくばの里工業団地の拡張については、公営事業として、一般の歳入歳出と区分して経理を行うために、「工業団地拡張事業特別会計」を新たに設置しました。

平成30年度の予算規模ですが、前年度と比較して、一般会計と特別会計を合わせた予算総額は、3億7,480万円、0.9%減の411億5,430万円、一般会計は、3億6,000万円、1.5%増の246億6,000万円、特別会計総額は、7億3,480万円、4.3%減の164億9,430万円としています。

一般会計は、ここ10年では最大の予算規模となりました。

特別会計総額が大きく減少していますが、これは、平成30年度より県単位での運営が開始されることで、国民健康保険事業特別会計の規模が縮小したためです。

平成30年度は、本市のまちづくりの基本方向を示す最上位計画「第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」の2年目の年であり、また、私が龍ヶ崎市長として3期目のスタートの年でもあります。

これまで進めてきた、「市民活動日本一」「子育て環境日本一」「防災・減災日本一」「スポーツ健幸日本一」の取組を、着実かつ確実に実行できるよう決意を新たにしているところです。

そのため、にぎわいの創出による交流人口の増加と定住促進を図りながら、教育環境の向上と子育てしやすいまちづくり、健康で安全安心に暮らせるまちづくりを進める取組に留意した予算編成としました。

続いて、平成30年度の予算の特徴です。

一般財源については、国の地方財政対策では、臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税を減額とし、当市においても、減収を見込んでいます。

一方、景気の回復基調により、市税や地方消費税交付金は増収を見込み、一般財源の総額では、約1億8,000万円の増としました。

歳出については、義務的経費である扶助費や公債費の増加に加え、道の駅整備や佐貫3号線整備などが本格化し、投資的経費である普通建設事業費も増加したため、一般会計の予算規模が、前年度より拡大しています。

このため、建設事業にかかる市債も、約2億6,000万円の増となっています。

次に、平成30年度当初予算に計上した主な事業について、戦略プランの全体像と4つの重点目標に関連付けて、「教育環境の向上と子育て環境日本一」「にぎわいの創出と市民活動日本一」「安全安心なまちづくりと防災・減災日本一」「健康づくりの推進とスポーツ健幸日本一」の取組に分けてご説明します。

まず、「教育環境の向上と子育て環境日本一」です。

平成29年度は、全小学校への電子黒板とタブレット端末の導入を完了しましたが、平成30年度は、Wi-Fi環境の整備とともに、全中学校に拡大します。

また、中学校の特別教室にエアコンを設置する準備として、実施設計の予算を計上しています。

小学校での英語教育については、学習指導要領の改訂により、2年後の教科化等が予定されていますが、前倒しで対応を始めるため、英語指導助手を2名増員し、10名体制とします。

国指定の重要文化財である、「絹本著色十六羅漢像」の掛軸については、平成29年度に続き、平成30年度でも4幅を複製します。完成次第、順次公開していく予定です。

子育て支援に関しては、好評を得ております、「こどもまつり」を平成30年度でも開催するほか、高校3年生相当までの医療費の自己負担分を助成するマル福医療福祉事業や、小児インフルエンザをはじめとした任意予防接種助成、保育士への家賃補助や就学資金の貸し付けなど、これまで市独自で実施してきた取組を継続してまいります。

「にぎわいの創出と市民活動日本一」では、「にぎわいの創出」の一大プロジェクトである道の駅は、牛久沼の魅力を活かし、周辺地域を含めたランドデザインを描きながら、2年後の開設に向けて整備をすすめます。

平成30年度では、道の駅の護岸改修や整地工事、道の駅総合プロデュースや牛久沼活用支援の委託料などの予算を計上しました。さらに、牛久沼フォトコンテストの開催と優秀作品によるカレンダー作成や、牛久沼の水質浄化のための取組にかかる費用も予算化しています。

佐貫駅へのアクセスを向上させる、佐貫3号線の整備については、詳細設計の予算を計上しています。

また、住み替え支援補助については、補助の増額や子育て加算の拡充などを行い、さらなる定住促進につなげます。

つくばの里工業団地の拡張については、「工業団地拡張事業特別会計」を設置し、事業を本格化させます。

創業支援事業では、平成29年度に取手市と連携して、創業支援の拠点となる「Match-hako 龍ヶ崎」を開設しましたが、平成30年度は、事業を継続するとともに、創業する方への支援促進のための補助を新設しています。

中核的な地域コミュニティ活動への支援については、活動の拠点であるコミュニティセンターの環境整備を継続し、トイレの洋式化やエアコンの改修等をすすめます。

地域の集会施設の改修にかかる補助については、トイレやエアコンの改修などにも、対象を拡大します。

市民活動の拠点である市民活動センターは、隣接する教育センターと共に、屋上防水や外壁塗装を行い、施設の長寿命化を図ります。

龍ヶ崎市版「小さな拠点づくり」については、ふれあいのまちづくり事業を拡大し、社会福祉協議会と連携して、地域交流を活性化させるための拠点づくりを推進します。平成30年度は、JR佐貫駅西側エリアへの設置を予定しています。

また、イベント開催時の駐車場不足に対応し、にぎわいの創出を図るため、龍ヶ岡公園の東側に駐車場を整備します。

「たつのご産直市場」は、4月8日（日曜日）のオープンを目指して準備をすすめています。

「安全安心なまちづくりと防災・減災日本一」では、防災貯留型トイレ、いわゆるマンホールトイレの避難所への設置をすすめます。平成30年度は、新たに5か所の小学校へ設置します。

防災行政無線については、デジタル化に着手します。平成30年度は実施設計を行い、平成33年度にデジタル化完了の予定です。

また、地域防災の担い手である消防団の報酬単価を引き上げ、処遇改善を図ります。

さらに、非構造部材の耐震改修工事として、文化会館大ホールの天井改修工事に着手します。

また、地域の安全安心のため、住民自治組織等で設置する防犯カメラや、老朽化した空家の解体費用にかかる補助を継続していくほか、寝室などを耐震強化するための、耐震シェルター等設置にかかる補助を新設しています。

「健康づくりの推進とスポーツ健幸日本一」では、平成30年を「スポーツ健幸元年」と位置づけ、市民の健康寿命の延伸に向け、ウォーキングや体操などの運動習慣の普及を目指した取組をすすめます。

平成29年12月にスタートした、「たっぽくん健幸マイレージ」事業では、様々な機会を活用して登録者を増やし、日常的にウォーキングを促すことや、各種検診の勧奨などを行います。

加えて、医療機関での胃カメラ検診を新たに開始し、検診の充実を図ります。

また、まいんの1階を「(仮称) スポーツ健幸センター」として整備し、身近な地域で気軽にスポーツに親しめる場所を提供し、高齢者をはじめとする市民の健康づくりを支援するとともに、中心市街地の活性化を促進します。

「いきいき茨城ゆめ国体・ゆめ大会」については、本番を翌年に控え、平成30年度は、リハーサル大会を開催します。

東京五輪・ラグビーワールドカップ等の事前キャンプの招致については、タイ王国の陸上、キューバ共和国及びオセアニア地域の柔道の事前キャンプ地となることが決定しています。一流アスリートの技を間近で体感し、様々な国の人々と交流する絶好の機会と考えています。

また、これに伴う利用者の国際化への対応として、総合運動公園の誘導サインを、国際基準であるピクトグラムを付し、英語を併記したものにリニューアルするとともに、案内看板を設置します。

以上、駆け足となりましたが、平成30年度予算の概要をご説明しました。

「人が元気 まちも元気 自慢したくなるふるさと 龍ヶ崎」の実現のため、市民の皆さんと力を合わせて全力でまちづくりに取り組んでまいります。

ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。